

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 清水建設株式会社

コード番号 1803 URL <https://www.shimz.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 充穂

TEL 03-3561-1111

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	834,850	14.4	62,379	26.5	65,272	25.7	47,694	30.5
2019年3月期第2四半期	729,675	6.5	49,306	△1.4	51,946	△1.3	36,561	△4.4

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 43,567百万円（△17.7％） 2019年3月期第2四半期 52,955百万円（4.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	61.29	61.28
2019年3月期第2四半期	46.60	46.59

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,844,055	745,071	40.1
2019年3月期	1,860,794	735,242	39.2

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 739,565百万円 2019年3月期 729,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	23.00	36.00
2020年3月期	—	18.00			
2020年3月期（予想）			—	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2019年3月期の中間配当金には、特別配当6円、期末配当金には、特別配当16円が含まれています。  
2020年3月期の中間配当金及び2020年3月期（予想）の期末配当金には、それぞれ特別配当8円が含まれています。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,760,000	5.7	132,000	1.8	135,000	0.8	95,000	△4.7	122.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	788,514,613株	2019年3月期	788,514,613株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	21,463,828株	2019年3月期	3,964,206株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	778,206,988株	2019年3月期2Q	784,552,544株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、設備投資は増加基調をたどり、個人消費も底堅さを維持するなど、緩やかな回復傾向が続きました。

建設業界においては、官公庁工事で前年同期に大型案件の受注があった反動や、民間工事で消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられ、業界全体の受注高は前年同期を下回る水準で推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高及び開発事業等売上高の増加により、前年同期に比べ14.4%増加し8,348億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益が増加したことに加え、開発物件の売却による開発事業等総利益の増加などにより、営業利益は前年同期に比べ26.5%増加し623億円、経常利益は25.7%増加し652億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有株式の売却に伴う固定資産売却益の増加などにより、30.5%増加し476億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、現金同等物（現金預金及び有価証券に含まれる譲渡性預金）は増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ167億円減少し1兆8,440億円となりました。

負債の部は、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ265億円減少し1兆989億円となりました。

なお、連結有利子負債の残高は3,407億円となり、前期末に比べ213億円の増加となりました。

純資産の部は、自己株式の取得を実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ98億円増加し7,450億円となりました。また、自己資本比率は前期末に比べ0.9ポイント増加し40.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当第2四半期連結累計期間の業績が通期の予想に対し順調に推移しており、当社グループを取り巻く景況感も概ね想定範囲内であることから、現時点では2019年7月31日に公表しました業績予想を修正していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	150,978	154,209
受取手形・完成工事未収入金等	641,061	528,892
有価証券	79,000	150,000
販売用不動産	24,722	5,807
未成工事支出金	79,069	85,327
開発事業支出金	20,577	14,061
PFI事業等たな卸資産	53,750	48,450
その他	97,801	96,836
貸倒引当金	△1,060	△926
流動資産合計	1,145,901	1,082,658
固定資産		
有形固定資産	299,847	356,735
無形固定資産	7,948	9,565
投資その他の資産		
投資有価証券	387,746	376,335
その他	21,332	20,744
貸倒引当金	△1,983	△1,985
投資その他の資産合計	407,095	395,094
固定資産合計	714,892	761,396
資産合計	1,860,794	1,844,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	354,466	315,573
短期借入金	121,179	120,912
1年内返済予定のノンリコース借入金	7,432	6,775
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
1年内償還予定のノンリコース社債	879	15,320
未払法人税等	31,609	24,612
未成工事受入金	145,533	136,083
完成工事補償引当金	3,209	3,344
工事損失引当金	8,175	6,425
役員賞与引当金	267	—
独占禁止法関連損失引当金	1,820	1,820
その他	143,294	153,672
流動負債合計	837,868	794,540
固定負債		
社債	40,000	60,000
転換社債型新株予約権付社債	30,046	30,031
ノンリコース社債	13,180	13,499
長期借入金	49,520	44,471
ノンリコース借入金	37,161	39,731
退職給付に係る負債	55,873	55,493
その他	61,900	61,215
固定負債合計	287,683	304,442
負債合計	1,125,551	1,098,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,116	43,116
利益剰余金	443,802	473,421
自己株式	△1,609	△17,156
株主資本合計	559,674	573,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,079	146,368
繰延ヘッジ損益	△54	△83
土地再評価差額金	25,864	25,864
為替換算調整勘定	△1,955	△2,562
退職給付に係る調整累計額	△4,193	△3,767
その他の包括利益累計額合計	169,741	165,819
非支配株主持分	5,826	5,506
純資産合計	735,242	745,071
負債純資産合計	1,860,794	1,844,055

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	655,574	725,907
開発事業等売上高	74,101	108,943
売上高合計	729,675	834,850
売上原価		
完成工事原価	575,087	637,405
開発事業等売上原価	65,105	93,065
売上原価合計	640,193	730,471
売上総利益		
完成工事総利益	80,486	88,501
開発事業等総利益	8,995	15,878
売上総利益合計	89,482	104,379
販売費及び一般管理費	40,175	42,000
営業利益	49,306	62,379
営業外収益		
受取利息	601	529
受取配当金	2,993	3,057
その他	791	1,237
営業外収益合計	4,386	4,824
営業外費用		
支払利息	1,194	1,061
その他	552	870
営業外費用合計	1,746	1,931
経常利益	51,946	65,272
特別利益		
固定資産売却益	3,224	7,253
特別利益合計	3,224	7,253
特別損失		
固定資産売却損	15	105
投資有価証券評価損	—	754
特別損失合計	15	859
税金等調整前四半期純利益	55,155	71,666
法人税等	18,557	24,251
四半期純利益	36,598	47,415
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	36	△279
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,561	47,694

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	36,598	47,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,682	△3,699
繰延ヘッジ損益	242	△32
為替換算調整勘定	△1,286	△556
退職給付に係る調整額	616	407
持分法適用会社に対する持分相当額	101	32
その他の包括利益合計	16,357	△3,848
四半期包括利益	52,955	43,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,030	43,772
非支配株主に係る四半期包括利益	△75	△205



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,155	71,666
減価償却費	6,395	6,461
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	△132
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,565	△1,748
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	496	209
固定資産売却損益 (△は益)	10	△60
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	754
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,219	△7,087
受取利息及び受取配当金	△3,595	△3,587
支払利息	1,194	1,061
売上債権の増減額 (△は増加)	2,699	111,966
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△4,838	18,915
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△20,088	△6,287
開発事業支出金の増減額 (△は増加)	9,566	6,516
P F I 事業等たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76	5,299
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100,141	△37,867
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	61,919	△9,274
その他	△11,494	10,525
小計	△9,643	167,331
利息及び配当金の受取額	4,121	4,227
利息の支払額	△1,202	△1,083
法人税等の支払額	△19,681	△31,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,407	139,437
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,737	△63,477
有形固定資産の売却による収入	19	135
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△570	△1,449
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	5,106	14,806
その他	△3,650	△1,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,833	△51,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,723	1,973
長期借入れによる収入	550	2,600
長期借入金の返済による支出	△10,039	△9,788
ノンリコース借入れによる収入	—	6,767
ノンリコース借入金の返済による支出	△3,232	△4,854
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	—	△10,000
ノンリコース社債の発行による収入	—	15,200
ノンリコース社債の償還による支出	△439	△439
自己株式の取得による支出	△1	△15,547
配当金の支払額	△12,574	△18,075
その他	△154	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,167	△12,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,194	△927
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68,602	74,231
現金及び現金同等物の期首残高	341,158	229,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	272,556	304,209

**(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月24日開催の取締役会において、当社普通株式30,000,000株、取得価額の総額20,000百万円を上限とした自己株式の取得を決議し、当第2四半期連結累計期間に当社普通株式17,497,700株を15,545百万円で取得しました。当該自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が15,547百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の「自己株式」は17,156百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

建物・構築物の減価償却方法の変更

当社及び一部の連結子会社は、建物・構築物の減価償却方法について、従来、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間から、定額法に変更しています。

当社グループは、2019年5月に公表した長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」及び「中期経営計画〈2019 - 2023〉」において、安定収益の確保に向けた賃貸資産の更なる拡充等、2023年度までの5年間で不動産開発事業に5,000億円の投資を計画しています。これに伴い、長期安定的に稼働する賃貸事業用の建物・構築物が増加することが見込まれることから、減価償却方法を使用期間にわたり均等に費用配分する定額法に変更することとしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ357百万円増加しています。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	590,447	8,668	130,559	729,675	—	729,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,313	58	93,289	108,661	△108,661	—
計	605,760	8,727	223,849	838,337	△108,661	729,675
セグメント利益(注1)	50,124	2,979	6,864	59,968	△10,662	49,306

- (注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業※及び子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額△10,662百万円は、セグメント間取引消去等です。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	650,659	17,294	166,896	834,850	—	834,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,283	7,557	98,121	131,962	△131,962	—
計	676,943	24,851	265,018	966,813	△131,962	834,850
セグメント利益(注1)	60,635	8,640	8,102	77,378	△14,999	62,379

- (注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業※及び子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額△14,999百万円は、セグメント間取引消去等です。

※LCV(ライフサイクル・バリュエーション)事業:お客様のニーズに対し再生可能エネルギーやIoT等を活用し事業参画・投資を含めた包括的なサービス・ソリューションを提供する事業

以 上